禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B44

「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
2級 建築大工 学科試験問題
(大工工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

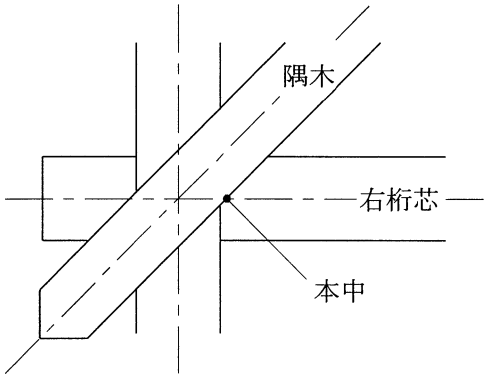
1　大壁造りとは、板張りや塗り壁を柱面に設けて、柱を隠す構造をいう。

2　木造建築では、構造計算などによる構造設計により、体育館などの大スパン構造を造ることができる。

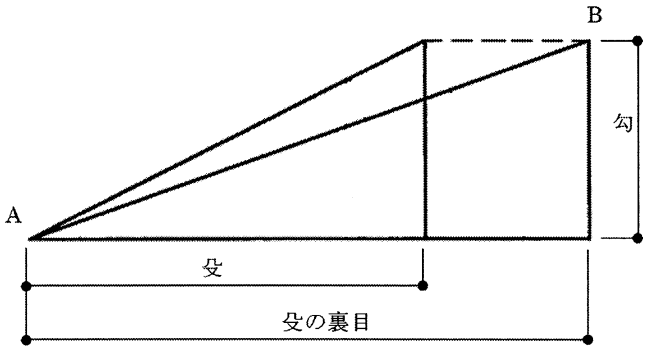
3　敷桁とは、柱の上端を連結し、陸ばりを受けるもので、小屋組を支える役目を持った水平材をいう。

4　鉄筋コンクリート造の鉄筋のかぶり厚さは、基礎、床スラブ、柱とでは異なる。

5　次図のように、隅木の右側面と右上端桁芯との交点を本中という。

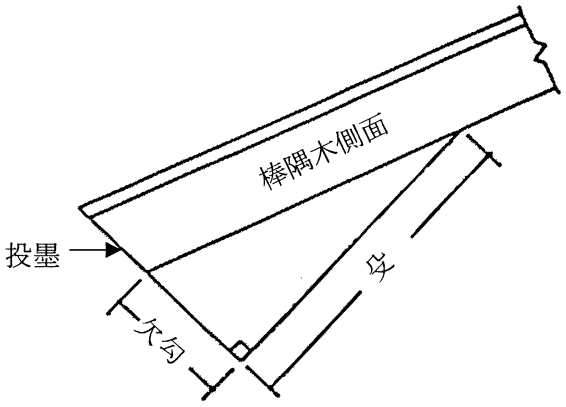


6　次図の殳の裏目に対するABの角度は、隅勾配を表している。



［A群（真偽法）］

7　次図は、棒隅木(真隅木)の投墨のさしがね使いを示したものである。



8　柱建て四方転びの柱のくせは、柱の勾配が垂直に近くなるほど小さくなる。

9　トリマは、主に、貫通する穴を開けることを目的として使用される小型の工具である。

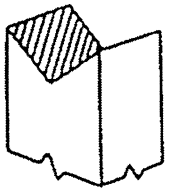
10　のこ刃が厚いのこぎりは、抵抗が少なく木材が切りやすい。

11　工事に使用する工程表の作成に当たり、天候は考慮しなくてもよい。

12　仮設足場で単管を使用した場合、筋かいの止め金具には、直交型クランプを使用する。

13　水盛り・遣方において、芯墨は、レベルを使用して出す。

14　次図における水杭の頭頂部の切り方は、いすか切りである。



15　基礎コンクリートの養生では、型枠をなるべく早く取り外して日光や風にさらした方がよい。

16　洋小屋組の建て方では、トラスを地上で組んでから横架材にかけ渡す方がよい。

17　グラスウール断熱材は、無機質なので雨に濡れてもさしつかえない。

18　シーリング工事は、一般に、塗装工事が終わってから行うとよい。

［A群（真偽法）］

19　けらば瓦は、軒先に使用する瓦である。

20　化粧床の養生は、養生紙が動かないように接着剤で十分にとめるとよい。

21　構造用面材は、柱、間柱及び土台、はり、桁、その他の横架材に、確実にくぎで留め付ける。

22　集成材は、一般木材よりも反り、狂いなどが生じにくい。

23　木造建築物の設計図のうち、矩計図の縮尺の割合は、1/20よりも1/100の方が詳細である。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、研削といしについては、その日の作業を開始する前には1分間以上、研削といしを取り替えたときには3分間以上試運転をしなければならないとされている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、丸太足場の地上第一の布は、3m以下の位置に設けることとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。
木材を水平に積み上げて、構造体としての壁を構成する構造形式は、(　　)である。
イ　木造枠組壁構法
ロ　CLTパネル構法
ハ　在来軸組構法
ニ　丸太組構法

2　木造建築物において、軒桁と小屋ばりの仕口を補強するときに使う金物として、適切なものはどれか。
イ　かすがい
ロ　羽子板ボルト
ハ　大くぎ
ニ　短冊金物

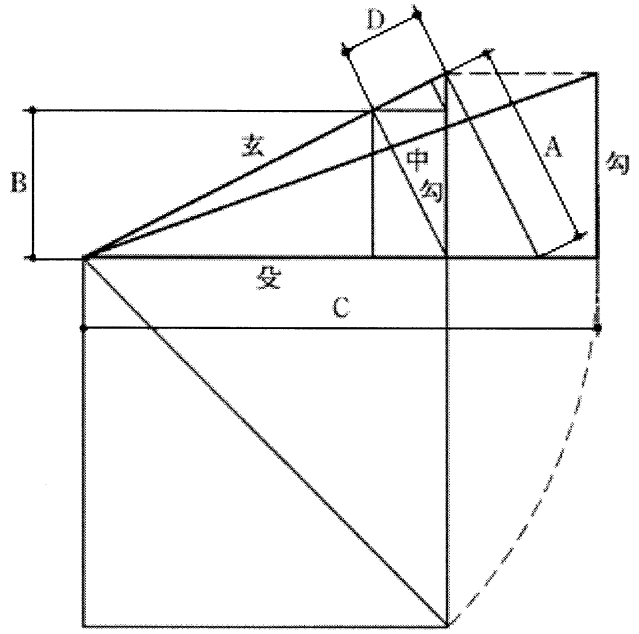
3　木造2階建て一般住宅の通し柱の断面寸法として、適切なものはどれか。
イ　90mm角
ロ　95mm角
ハ　100mm角
ニ　120mm角

4　組積造でないものはどれか。
イ　石構造
ロ　RC構造
ハ　れんが構造
ニ　コンクリートブロック構造

5　力の3要素として、誤っているものはどれか。
イ　力の大きさ
ロ　力の方向
ハ　力の性質
ニ　力の作用点

［B群（多肢択一法）］

6　規矩術の基本図のうち、A、B、C及びDの組合せとして、正しいものはどれか。



	A		B		C		D
イ	小勾	・・・	欠勾	・・・	隅殳	・・・	長玄
ロ	補玄	・・・	小勾	・・・	欠勾	・・・	短玄
ハ	補玄	・・・	欠勾	・・・	隅殳	・・・	短玄
ニ	欠勾	・・・	補玄	・・・	小勾	・・・	長玄

7　表目と裏目の関係を表すさしがね使いとして、正しいものはどれか。

イ　裏目1＝表目1×$\frac{\sqrt{2}}{2}$

ロ　裏目1＝表目1×$\sqrt{2}$

ハ　裏目1＝表目1×$\sqrt{3}$

ニ　裏目1＝表目1×2

8　平勾配と振れ勾配が同一の小屋組において、振れたる木立水勾配で、正しいものはどれか。

イ　殳100mmに対し短玄の返し勾配

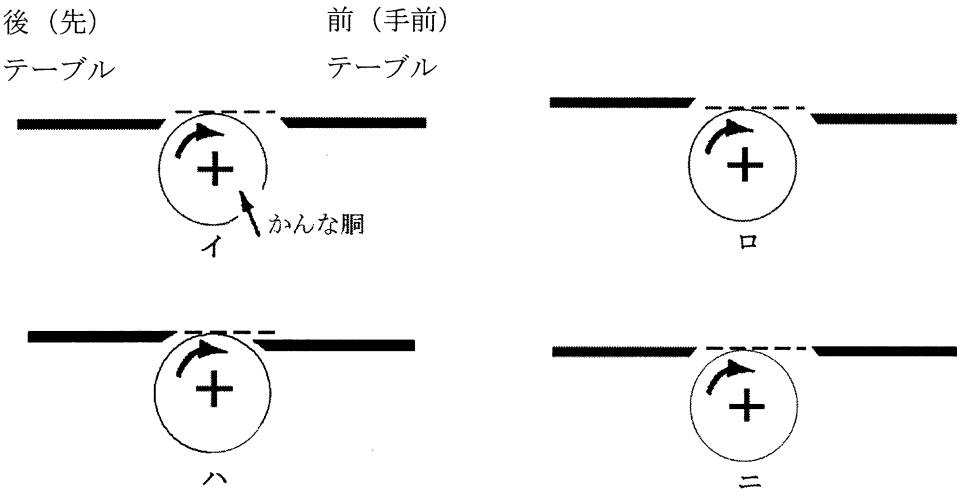
ロ　殳100mmに対し小中勾の返し勾配

ハ　殳100mmに対し小殳の返し勾配

ニ　殳100mmに対し中勾の返し勾配

［B群（多肢択一法）］

9　手押しかんな盤のテーブル調整として、正しいものはどれか。



10　水平角と立水を測るものとして、正しいものはどれか。

イ　トランシット
ロ　水盛りタンク
ハ　下げ振り
ニ　水平定規

11　木造住宅の施工順序として、正しいものはどれか。

イ　遣方　→　基礎　→　建方　→　屋根
ロ　基礎　→　遣方　→　建方　→　屋根
ハ　基礎　→　建方　→　遣方　→　屋根
ニ　遣方　→　建方　→　基礎　→　屋根

12　次の工事のうち、仮設工事でないものはどれか。

イ　仮囲い工事
ロ　足場の組立て工事
ハ　屋根の葺き替え工事
ニ　水盛り遣方工事

13　一般に使用されている墨付けにおいて、芯墨を表す記号として、正しいものはどれか。



［B群（多肢択一法）］

14　基礎工事に関する記述として、誤っているものはどれか。

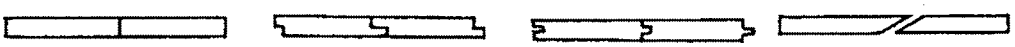
イ　布基礎の立上がり部分の上・下主筋は、D10とする。

ロ　アンカーボルトのコンクリートへの埋込み長さは、250mm以上にする。

ハ　布基礎の立上がりの厚さは、150mm以上にする。

ニ　換気孔まわりは、斜め筋で補強する。

15　次図の床板加工のうち、合じゃくり(相じゃくり)はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

16　継手や仕口に関係しないものはどれか。

イ　あり掛け

ロ　あり壁

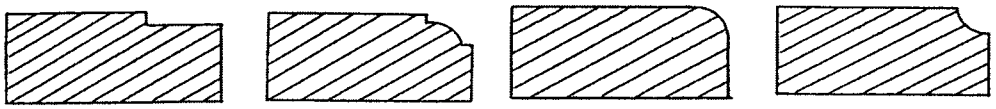
ハ　あり桟

ニ　あり継ぎ

17　見切り材の使用箇所とその名称の組合せとして、誤っているものはどれか。

	(使用箇所)		(名称)
イ	和室の畳と壁	・・・	畳寄せ
ロ	押入れの床と壁	・・・	雑巾ずり
ハ	廊下の床と壁	・・・	幅木
ニ	洗面所の床と壁	・・・	回り縁

18　次図の面取りのうち、ぎんなん面はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

19　木材及び木材加工品に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　木材の比重は、一般に、気乾材の比重で表す。

ロ　乾燥させた木材は、生木よりも強度が高い。

ハ　引張強度は、せん断強度よりも小さい。

ニ　合板は、3枚以上の単板を接着剤で貼り合わせて1枚の板にしたものである。

［B群（多肢択一法）］

20　断熱性能が最も高い窓用ガラスとして、適切なものはどれか。

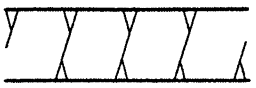
イ　フロート板ガラス
ロ　網入り板ガラス
ハ　合わせガラス
ニ　複層ガラス

21　使用場所とその建築用材料の組合せとして、一般に、適切でないものはどれか。

	(使用場所)		(建築用材料)
イ	土台	・・・	クリ・ヒノキ
ロ	柱	・・・	ヒノキ・スギ
ハ	小屋	・・・	ラワン・タモ
ニ	造作	・・・	ヒノキ・スギ

22　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の材料構造表示記号として、正しいものはどれか。

イ　割栗
ロ　石材又はぎ石
ハ　地盤
ニ　軽量ブロック壁



23　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、住宅の居室の採光面積は、原則として、床面積の(　　)以上としなければならないとされている。

イ　1/7
ロ　1/9
ハ　1/10
ニ　1/20

24　建築基準法関係法令における用語とその定義の組合せとして、誤っているものはどれか。

	(用語)		(定義)
イ	延べ床面積	・・・	敷地の水平投影面積
ロ	建築	・・・	建築物を新築し、増築し、改築し、又は移転すること
ハ	建ぺい率	・・・	建築物の建築面積の敷地面積に対する割合
ニ	主要構造部	・・・	壁、柱、床、はり、屋根又は階段

［B群（多肢択一法）］

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、(　　)m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないとされている。

イ　1

ロ　3

ハ　5

ニ　7